

広報

のぼりべつ

主な内容

- よみがえる 歴史の絆—登別市・白石市姉妹都市提携祝賀会…………… 2・3 P
- 姉妹都市白石市は、そぞろ歩きがよく似合う城下町風情…………… 4・5 P
- 郷土史探訪—姉妹都市白石市とのゆかりを訪ねて…………… 6 P
- 文芸のぼりべつ原稿を募集します。…………… 7 P

●No. 396 ●昭和59年6月15日 ●発行/北海道登別市 ●編集/総務部公聴広報課 ●印刷/大洋印刷



末永い友好と親善の誓い

登別市と宮城県白石市との姉妹都市提携を記念する祝賀会が、5月17日登別市民会館で盛大に開催され、末永い友好と親善を誓い両市長による市旗の交換（写真：上）が行われました。

（祝賀会とイベントである物産展の様、白石市の紹介記事は次ページ以降に詳しく掲載しています。）

6.15 '84



喜びを一杯に花束をかける両市長

よみがえる歴史の絆

両市の絆は、明治2年旧仙台藩、白石城主の片倉家一門が、開拓の鎌を入れ、現在の登別市の礎を築いたことにはじまり、昨年10月26日の宮城県白石市での姉妹都市盟約調印式で結ばれました。

今回は、その記念すべき祝賀会を当市で行いました。5月17日午前10時から大ホールで開かれた祝典には、白石市から岡谷市長をはじめ、小室市議会議員、鈴木商工会議所会頭など12名の代表と観光団20名が出席。また、片倉家第16代片倉重信さんと第15代当主片倉信光氏の弟忠光さんも出席され、祝典に色どりを添えられました。登別市からは、中浜市長をはじめ室市議会議員ら各界の代表約600人が出席。祝典は、両市長による市旗の交換に、より喜びの拍手が大きくなる中で行われ、両市長が「盟友の両市が、がちりと手を握り、文化・教育・産業・スポーツなどの交流を深め、相互発展を目指したい」とあいさつをしました。その後、両議長、北林胆振支庁長の祝辞に続き、片倉重光

さんが当時をしのびながら「姉妹都市提携を開拓に従事した祖父母たちが、どれほど感激していることか、ひしひしと胸にせまる想いです。本当にありがとうございます」と述べ、参会者の感動を誘っていました。

また、登別市史編さん委員長岩原秀夫さんの「登別市と白石市」と題した記念講演、さらに、少女北海太鼓、熊舞などの郷土芸能が披露され、ボーイスカウトによるチーフ交換で厳粛な中にもなごやかなふいんきで式典を無事終了しました。引き続き、祝宴が中ホールで行われ、会場内のあちらこちらで両市の交流の花が咲いていました。

いま、なぜ

白石市と姉妹都市か

登別市史編さん 委員長 岩原秀夫

私たち郷土史研究家が、調べれば調べるほど白石開拓武士団の、登別に与えた影響力は大きく、その資の高さと指導力の強さが浮上して参ります。

片倉家十二・十三代をはじめ、本沢直實、日野愛喜と言ったご家老群。それに、医療を携え北の辺地に参った高橋啓庵、農耕馬の育成、西洋農具の技術導入を図った佐藤誠など数えきれない方がありませぬ。

つまり、何を申し上げたいか、侍に百姓が出るかという当時の既成観念を見事にくつがえしました。

開拓技術そのものより明治新政府あるいは、北海道開拓史が何もかにも試行錯誤。官尊民卑で威張っておりました。この時代に百姓町人だけが開懸に当たっていたらどうだったか。

白石武士団がついていたからこそ、朝令暮改の激動期でも、いばらの道を開懸し、諸国からの移住民にも希望と力を与え、除々に開拓が進んでいったのです。

登別市が、片倉町という名前を残して、その一面に今はなき旧白石城の本丸を擬して郷土資料館を建て、また、姉妹都市提携という登別市のラブコールは、単に歴史的事実や絆があった



ただでなく大きな評価と感謝に裏打ちされた呼びかけであります。

これは、日本三百年の長い鎖国後に訪れた日本の夜明けともいえるべき、明治維新期に転回した苦しみと悲しみの歴史であり、一方では、壮大なフロンティアの輝けるドラマとして、日本の歴史書に永久に残るべき重さを持っています。

そういう意味で、両市の皆様、姉妹都市を契機にいたしまして、ますますいろいろな分野で交流を深めていただけるよう、私からも深くお願いいたします。

◆ ◆ ◆
本文は、登別市・白石市姉妹都市提携の記念講演「登別市と白石市」の中からその一部を掲載いたしました。



祝賀会の席上で、しっかりと握手をかわす両市長



ホーイスカウトの指導者から色紙を贈られた両市長



温泉中学校の生徒による熊舞



▲ 白石市特産品の一つである全国でも有名なこけしを手にながめる市民。

▼ 登別市の物産展会場で「これはいいものだ」と感心している市民。



▲ さて、このお化け温麺の重量はいくらかな。



▶ 温麺を試食している親子「お味は、いかがですか」

大盛況だった 両市の物産展

姉妹都市提携を記念して、両市の特産品などを、広く市民に紹介する物産展が、五月十七日から二十日までの四日間、市民会館を舞台に開催されました。

白石市の物産は、二階展示ホールが会場。全国的に有名なこけし、温麺、和紙工芸品をはじめ木製がん具、地酒、笹かまぼこ、それに各種観光土産品などがずらり。登別市は、エントランスホール、大会議室に土産物・羊肉加工品、木彫品をはじめ、白石からつながる伝統こけし、陶器、観光土産民芸品などが並び、白石からつながる方がたが、展示品を手にとってながめたり、試食をしている姿も見受けられ会場は大盛況。

特に、一階食堂コーナーの温麺特別メニューは、「ひとつ、どんを味がするのかもしれない、食べたらとてもおいしかった」と大好評。また、初日の十七日には白石のこけし影射実演と、クマの木彫りの観演が行われ、見物人から驚嘆の声がもれていました。

この物産展は、両市の実情を知っていただき、相互交流の一環として催されました。期間中延べ五千人も市民の方がおとすれ、終日大にぎわいだったことは、両市に大きなかけ橋が出来たことになりませう。

美しい自然に恵まれた

山紫水明の地

また白石市の恵まれた自然

白石市は、仙台市と福島市の中間にあり、雄大な蔵王連峰と清らかな流れ白石川とを擁する、美しい自然に恵まれたまちで、古くから山紫水明の地といわれたところ。白石市の歴史は非常に古く伊達家の重臣片倉小十郎の城下町として栄え、歴史的にも重要なまちとして知られています。

昭和二十九年四月には、白石町他六ヶ村が合併して市制を施行。現在では人口四万二千三百人余。東北自動車道のインターチェンジや国鉄東北新幹線の停車駅としての地の利も得て、交通の要衝としての色彩を強めながら、着実に発展を続けている宮城県南の核都市です。

白石城跡と武家家敷

城下の風情を残す

白石市街は、片倉家二百六十年余の白石城下の面影を、そこに留め、歴史散歩が



白石城跡益岡公園

白石市は
歩きがよく似合う
城下町風情



日本女性のかがみ

孝子堂と甲冑堂

は、そのまま観光面でも大きな役割をはたしています。四季おりおりの雄大な姿を築しむことができる蔵王連峰をはじめ、白石スキー場、川原子ダム、材木岩、長老湖、小原温泉、鎌先温泉など年間を通して、観光客の絶えることがありません。

孝子堂と甲冑堂。いずれも孝女の誉れ高い美女をまつたものです。孝子堂には「奥州白石噺」

これからも自然と歴史のまちとして、新幹線時代の観光に期待がよせられています。知られる女敵討、宮城野と信夫姉妹、父与太郎がまつられています。甲冑堂は、息子の戦死を悲しむ老母のため、息子たちの妻女、櫛と初音が甲冑を身にまとい老母をなぐさめたと伝えられ、妻女たちの木造が安置されています。



孝子堂

白石伝統の特産物を支える方がたからひとこと



伝統 kikeshi
一日にせいせい
十本が限度
弥治郎系 kikeshi 工人
佐藤 辰雄さん

こけしのふるさと白石市弥治郎では、今なお伝統を守りぬき、昔と変らぬ素材なこけしを生み続けています。毎年、全国のこけしまニヤが一同に集う「全日本こけしコンクール」が開かれており、二十六回目の今年、約十二万人の入場がありました。



白石うーめん
うーめんは親孝行の味
元祖白石うーめん味処
中島 良美さん

うーめんは、昔、親孝行な若者が旅僧から製法を伝授され、胃病に苦しむ父親に食べさせたところ病いになおり、その心のあたたかさから温麺と名付けられたと伝えられています。現在では、年間の売上額が約六十億円にものぼり、



深しめるまでです。市役所のすぐ裏には、片倉家が明治二年、幌別郡移住の際、開拓費用のねん出のため売却したという白石城跡があります。

として片倉の墓の場となっています。市内には、江戸時代そのままの武家家敷が残り、前を流れる堀の水面に重厚な影を落しています。

白石市内を見おろす小高い丘の上に、片倉家御廟があります。緑深く静まり返る杉木立。その静寂に包まれるようにして鎮座する十体の阿弥陀像。初代景綱から十代にわたって白石城主をつとめた片倉家代々の殿様がまつられていました。墓所の石側には苔むした殉死者の墓がならび、古代へのロマンを誘います。



白石市民から 一口メッセージ

北海道へは一度も行ったことがありませんし、登別のことも温泉で有名なことくらいしか知りませんでしたが、姉妹都市になったというので急に身近かになったような気がします。これを機会に北海道旅行の計画を考えようと思っています。もちろん登別へも考えていますので、その節はよろしく。



喫茶&スナック「モア」
片田 民枝さん



白石女子高等学校二年
斉藤 良子さん
水戸 里美さん

登別ってぜんぜん知らなかった。ここのお殿様が昔、北海道へ行ったという話はチラッと聞いたことがあるけどねえ。昔の人達って勇気があったんだなあって思うし、すっごくロマンを感じる。せつかくの姉妹都市だから学校の交流もできたらね。北海道？いつてみたあ。



我妻 商店
我妻かしくさん

昔、一度北海道へ行ったことがありますが、広すぎてさみしかったです。登別には、たいしたい温泉があると聞いていますので是非一度行ってみたいと思っています。姉妹都市ということで、すごく親しみもあるし、北海道らしくおほかできれいな街として発展してもらいたいですね。

その昔、清少納言、紫式部という平安期の女流文学者がよなく愛し、「みちのくの和紙」といわれた「白石和紙」。

藩政時代からの伝統を今に受け継ぎ、楮を原料とした純粹な手すき和紙は、ふくよかで美しく、じょうぶで今なお多くの需要があります。

◇ ◇ ◇
「白石和紙の作品一つ」



白石和紙
作品には歴史と文化が
白石和紙工房
高橋 忠雄さん

ひとつには歴史と文化があるんです。紙でできた羽織や反物を手に誇らしげに語る遠藤忠雄さん。

「昔、幌別郡に入植した方々は、たいへん苦勞をしています。その結果が、現在の登別の発展につながっていることは非常にうれしいことです。残った自分たちは、郷土の文化の発展のためがんばらなければなりません」と思っています。」

白石市の歴史を所蔵のことになっていきます。

◇ ◇ ◇
「うーめんは親孝行の

す。これらには、北海道の方にもどんどん食べてもらって「親孝行の味」を知ってもらいたいですね」

ふれあい広場



農耕馬で畑を起こす

山田留市さん
(桜木町5~18)

ハロー、ブラウ、農耕馬といえ
ば、見られなくなった牧歌的た
だずまいと思われ方もいらつし
やうでしょう。ところがドッコイ、
ここ桜木町には生きていました。
山田留市さん七十一歳と桜木一
号満一歳。六月三日でやつと満一
歳になった桜木一号は、ベルシロ
ンというフランス産の農耕馬。去
年まで元気に働いていた母・関内
一号が十七歳(人間でいう七十五
歳)という高齢で今年亡くなった
ため、現在、二代目農耕馬として

訓練を受けています。

「トラクターもあるけど馬が
一番使いやすい。畑のすみか
らすみまで起こしてくれるよ」
と言う留市さん、馬についても自
分で打つそうで馬は軍隊で覚
えたとのこと。

「冬場、山からの燃料運びに
馬はかくことができないし、
当然、車じゃできない。こい
つは二歳ぐらいの体をしてる
けど、背中が曲ってしまわな
いよう軽い荷物からしよわせ
ます」

その横で、チョットやんち
やそうな桜木一号、留市さん
の期待にそむかない立派な農
耕馬になってください。

▼ふれあい広場は、皆さんの
まわりの身近な出来事、ホッ
トな話題を取り上げ紹介して
いく企画です。どんなことでも
結構です。公聴広報課へお
知らせください。(田⑤21
1-1内線222)

街かどで
亀田記念公園

公園に寄付されたアヒルた
ち、さっそく子供たちの人気者
になりましたが、公園を管理す
るおばさんの話では、メス
のアヒルが一番食欲旺盛とか。



このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

郷土史探訪

白石城主片倉家主従
登別市開拓の苦闘

91 姉妹都市白石市との
ゆかりを訪ねてⅢ

領国の夢を覚まし、世界の進展
から取り残された当時、日本の大
きな歴史の変革の中に小武士団た
ちが翻ろうされた感があります。

その第一は、北方ロシアの恐威
に対し、北方領土の確保と警備が
新政府にとって緊急な課題であつ
たことにあります。

安政元年(一八五四年)の日露
和親条約では、クナシリ・エトロ
ク島は日本領、ウルップ島以東は
ロシア領とし、樺太島は日本・ロ
シアの雑居地とした。しかし、樺
太島では絶えず紛争がおこり、日
本人抑留事件や殺傷事件などと兩
国の軍事的力関係で日本勢力は次
第に後退してしまいました。

このような北方領土の緊迫から
その基点となる北海道の開拓は、
まことに急務で重要な問題で
したが、箱館五稜郭の戦いで
やつと国内統一をした明治政
府は、財政権、支配権がいず
れも確立されておらず、強力
な政治が実行できない状態
でした。

その中で政府は明治二年七
月、開拓使を設置し分領支配
によって北海道の開拓を押し
進めようとしたのです。

開拓は、鹿児島・名古屋、
熊本・水戸・秋田・米沢・斗
南など二十四藩、一橋・田安
家など二華族、増上寺・仏光
寺など二寺院、そして片倉邦
憲・伊達邦成・石川邦光・伊
達邦直・福田邦直ら八士族に

より始まり、結果的に最後まで維
持したものは、十三藩、二華族、
二寺院、六士族にすぎませんで
した。



片倉景光一家(明治40年幌別片倉宅にて)

明治十年、片倉景範が札幌郡に
転居し、三十余戸が旧主を慕つて
上白石に転居したことも残留組に
とって悲痛を極めました。

明治二十年、子息景光を主君と
して迎え結束を固めますが、華族
会の公布により同じ仙台支藩の伊
達邦成・邦直が爵位を授けられな
がら片倉家に沙汰がなく受爵運動
に奔走したことも白石城主一万八
千石の面目にかけてのことです。

明治四十年、幌別郡移住開拓の
中心、片倉景光も故郷白石に転去
します。

片倉家主従の移住開拓は、片倉
家の再興を夢に、また賊軍汚名を
そそぐために、ただひたすら武士
の意地を通した北海道跋涉組は結
果的に時代の変革に翻ろうされま
したが、その基礎の上に今の登別
があると思ふとき、片倉一族とそ
の家臣ら一同の先人に深く頭の下
る思いがします。

登別市郷土文化研究会
宮武 神一記

「片倉小十郎儀、北海道開墾ノ為
メ疲弊ヲ淺キ尽力候ニ付キ廢毀仰
付ケラレ候白石城材木共外下賜候
条、勝手ニ始末イタシ開墾入費ニ
充候様相違ヌ可キ事」として白石
城材木その他がそのお金にあてら
れています。

その後の片倉家主従の開拓は苦
斗を極めましたが、明治四年、第
三回移住を予定された旧家臣六百
余が旗本奉行・家老職である佐藤
孝郷の采配で開拓使真属を命じら
れ、開拓使所屬として現在の札幌
白石町、手稲町に入植したことは
幌別組移住者にとり大きな衝撃で
した。

明治十年、片倉景範が札幌郡に
転居し、三十余戸が旧主を慕つて
上白石に転居したことも残留組に
とって悲痛を極めました。

明治二十年、子息景光を主君と
して迎え結束を固めますが、華族
会の公布により同じ仙台支藩の伊
達邦成・邦直が爵位を授けられな
がら片倉家に沙汰がなく受爵運動
に奔走したことも白石城主一万八
千石の面目にかけてのことです。

明治四十年、幌別郡移住開拓の
中心、片倉景光も故郷白石に転去
します。

片倉家主従の移住開拓は、片倉
家の再興を夢に、また賊軍汚名を
そそぐために、ただひたすら武士
の意地を通した北海道跋涉組は結
果的に時代の変革に翻ろうされま
したが、その基礎の上に今の登別
があると思ふとき、片倉一族とそ
の家臣ら一同の先人に深く頭の下
る思いがします。

登別市郷土文化研究会
宮武 神一記

文芸のぼりべつの 原稿を募集します

のぼりべつ文芸編集委員会では「この港・岬」をテーマに「市民文芸のぼりべつ」の原稿を次のとおり募集します。多数ご応募ください。

- ▽募集作品
 - 創作、評論、シナリオ（1人1編・原稿6枚以内）
 - 随筆（1人1編・原稿3枚以内）
 - 詩（1人1編・原稿2枚以内）
- ※作品の原稿用紙は、いずれも26

字×23行のものをご使用ください。用紙は社会教育課内にあります。○短歌、俳句、川柳（はがきを使用し、1人6首句以内）

- ▽応募資格 市内に居住する方。または市内の文化団体に所属している方。
- ▽応募要領 応募原稿に住所、氏名、職業を記入（ペンネームを使用の場合も、必ず本名を記入してください。）

座長民謡大会が 開催されます

登別民謡連合会では、発足十五周年を記念して座長民謡大会を次のとおり開催します。皆さん多数おこしをお待ちしています。

- ▽日時 7月8日(日)
- 開場・午前11時
- 開演・正午

▽場所 市民会館大ホール
▽入場料 前売券：800円、当日券：1,000円

▽問合せ 斉藤正さん(TEL3-1825)、岩倉誠一さん(TEL5-8147)

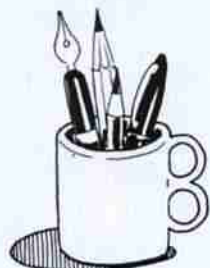
市民吹奏楽団 定期演奏会

登別市民吹奏楽団では、第四回定期演奏会を次のとおり開催します。

演奏会は、第一部がオリジナル三曲、第三部ではポップスを中心に、また第二部では歌謡大会と銘打って「さんかの宿」「矢切りの渡し」「お久しぶりね」「おまえ

▽作品締切日 7月末日
▽作品送付先 〒059-0333 登別市富士町7丁目33番地・登別市教育委員会社会教育課内のぼりべつ文芸編集委員会

▽問合せ 市社会教育課(TEL3-100)



魚まつりが 開催されます

室蘭市中央卸売市場

第二回室蘭地区魚まつり実行委員会では、魚の調理方法の実演などを行い、皆さんの食生活に役立てていただくことと次のとおり「魚まつり」を開催します。お気軽におこしください。

- ▽日時 6月24日(日) 午前9時～午後1時まで
- ▽会場 室蘭市中央卸売市場・水産棟
- ▽内容 魚の身おろしと調理方法の実演、水産メーカーの製品展示と即売など。

※詳しくは、商工課へお問い合わせください。(TEL2-111内線2557)

さつき展に おこしください

登別文化協会盆裁部では、次のとおりさつき展を開催します。皆さん多数のご来場をお待ちしています。

- ▽日時 6月23日～25日まで/午前9時～午後5時まで
- ▽場所 市民会館
- ▽入場料 無料

※詳しくは、市社会教育課へお問い合わせください。

読書グループ あひるの会

読書グループ「あひるの会」は、絵本、童話などを中心に学ぶお母さんのグループです。今年度は宮沢賢治の絵本「セロ弾きのゴーシュ」「銀河鉄道の夜」などを予定しています。お気軽にご参加ください。

- ▽例会日 毎月1回第2土曜日・午後2時～4時まで
- ▽会場 図書館

無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご利用ください。

札幌弁護士会室蘭支部の弁護士二人が相談をお受けします。相談ご希望の方は、あらかじめ申し込みにください。

- ▽日時 7月7日(日) 午前9時から
- ▽場所 市役所第2庁舎
- ▽定員 16名(定員になりしだい締め切ります)
- ▽申込先 公聴広報課(TEL5-2111内線222)

※裁判や調停中のものは、受け付けできません。

勤労者財産形成 持家融資のご案内

今年度の借入申込受付期限が6月28日までとなっております。ご利用ください。

- ▽対象者 財形制度を導入している事業主、財形貯蓄を3年以上している勤労者
- ▽貸付利率 申し込みなどのお問い合わせは市内金融機関の財形融資業務取扱店の窓口、または雇用促進事業団札幌支部へ。(TEL011-26115306)



登別・白石市物産展

うーめん重量クイズ 当選者発表

正解重量 39.3kg

- ▷一等 小川貴宏
 - ▷二等 小山浩二、柴田優子、勝俣美恵子、照井真知子、和泉健一、中本茂登、今田ヒデ子、矢久保和雄、佐々木チヨ、百井辰己
 - ▷三等 平賀玲子、渡辺深雪、雨夜奈津子、大崎幸雄、伊藤富子、登山紀正、及川親次郎、西田千代、三輪盛、渡辺光雄、石本充、長谷部憲一、塩沼智絵、杉田千里、東孝子、清水嘉勝、高橋仁、山口秀敏、松田幸子、小杉悦子(敬称略)
- ※当選者の景品は、市役所商工課(TEL5-2111内線256)でハガキと引き換えにお渡しします。

新着図書案内

市立図書館 TEL5-4324



母よ、そして我が子らへ(田内基) 暮しのつくりたい手ばたらき(渡辺喜恵子) ダンスと空想(田辺聖子) 母恋い放浪記(西村滋) 私とつれあい(村山リウ) 足よ手よ、僕はまた登る(松田宏也) しみる言葉(阿木翁助) 女からの声(青野聰) いま、島で(灰谷健次郎) ガラスの蝶(森英恵) おれたちは親子(大原健士郎) 余暇の社会学(加藤秀俊) 李二の世界(笠原淳) アメリカ生きがいの旅(城山三郎) 勝つために何をすべきか(松尾雄治) 慕情やみがたく(加瀬俊一) 脳と健康(久保田健) 人間であること(田中美和太郎) 恐婚(色川武大) 隅田川暮色(芝木好子) 女の胸算用(上坂冬子) 歴史の舞台(可馬遼太郎) さびしい東京(海老沢泰久) 或る男の断面(宇野千代) 撃墜(柳田邦男) 弦のない弓(西村望) 海恋い(真尾悦子) 遅い目覚めながらも(阿部光子) 戦士たちの休息(三好徹) 平安なれ命の終り(沖藤典子) 村長ありき(及川和男) ロイと鏡子(湯浅あつ子) 慶州は母の呼び声(森崎和江) 岩魚幻談(湯川豊)

農業委員会委員選挙

立候補届け出の説明会は6月26日

今年7月19日をもって任期満了となる登別市農業委員会委員選挙の投票日が次のとおり決まりました。

- ▽告示日 7月8日(日)
- ▽投票日 7月15日(日)
- ▽選挙による委員定数 10人
- △立候補届け出に 関する説明会

▽開催日 6月26日(火)
▽場所 市役所第二庁舎(旧中央公民館)

※なお、公職選挙法の一部改正にともない立候補届け出期間が一日に改められましたのでご注意ください。お問い合わせは、選挙管理委員会事務局へ。(TEL)21111内線374)

日常生活用具の給付を実施中

市では、在宅の重度障害児・者の方に日常生活を容易なものとす

ため、各種用具の給付を行っています。なお、申し込みに限定があります。すので、お早目に相談ください。

- ▽主な給付品目 浴槽、便器、特殊寝台、盲人用テープレコーダ
- ▽対象者 身体障害者1・2級の方(品目ごとに対象者が決められています)
- ▽負担費用 品目、所得により一部自己負担になる場合があります。
- ▽申込先 社会課
- ※お問い合わせは社会課へ(TEL)2111内線296)

母と子のよい菌のコンクール

北海道・北海道歯科医師会の主催による第三十三回「母と子のよい菌のコンクール」が行なわれます。

て決定し、応募者に通知されます。※詳しくは、室蘭保健所予防課へお問い合わせください。(TEL)4352219131内線372)

予防接種

三種混合(百日せき、ジフテリア、破傷風)

- 参加ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。
- ▽参加資格 55年4月1日～56年3月31日までに生まれた幼児とその母親
- ▽応募方法 往復ハガキに住所、氏名、生年月日を記入して6月23日(土)までに室蘭保健所へ(〒051 室蘭市幸町9番11号)
- ▽審査期日 申し込みにもとずい
- ▽接種の方法 1回接種

- ▽対象者 生後24ヵ月から48ヵ月未満の幼児
- ▽接種の方法 第一期：3週間から8週間の間隔で3回接種。第二期：一期終了後12ヵ月から18ヵ月までの間で1回接種。
- ツベルクリン反応
- ▽対象者 生後3ヵ月から48ヵ月未満の乳幼児
- ▽接種の方法 1回接種

市民憲章

ふれあう心の合言葉

一、教養をつまびらかにし、平和な文化の心をおもひ高いまをうつゝりまし。

会場	受付時間	予防接種名		
		三種混合	ツベルクリン	B C G
ひまわり園	13:00~13:20	7月25日	7月4日	7月6日
鷺別公民館	13:30~14:00	7月25日	7月4日	7月6日
登別公民館(登別支所隣)	13:00~13:30	7月27日		
国立登別病院	14:00~14:20	7月27日		
労働福祉センター(市民プール隣)	13:00~13:30	7月19日	7月3日	7月5日

で、各自、病医院で接種を受けてください。なお、受診券が届かなかった方は、保健衛生課へご連絡ください。(TEL)21111内線249)

かかって1ヵ月を過ぎていない。▽その他、予防接種をうけることが不適当な状態にある。

7月6日：労働福祉センター
7月25日：婦人センター

▽受付時間
午前の部：10時～10時30分
午後の部：1時～1時30分

▽内容 午前：成人病、妊婦、家族計画、幼児(7ヵ月児を除く)の各相談。午後：7ヵ月児相談(58年12月出生児)

▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

▽婦人センターでの健康相談は、午前中に午後の分も合わせて行います。

▽接種上の注意
▽子供の健康状態の良好な時に接種する。▽接種前日は入浴し、当日は清潔な肌を着用する。▽体温は必ず家で計測する。▽母子健康手帳を持参する。▽できるだけ母親が付き添う。▽接種前後に激しい運動をさせない。▽接種当日は入浴させない。

▽次に該当する場合は、予防接種を受けることができません。
▽発熱または著しい栄養障害。▽心臓、じん臓、肝臓の病気がかかっている。▽アレルギー体質または、副反応を起こしたことがある。
▽ポリオ、風しん、はしか、BCGの予防接種を受けて1ヵ月を過ぎていない。▽最近一年くらいの間、けいれんやひきつけを起こしたことがある。▽風しん、はしか、水ぼうそう、おたふくかぜに

献血にご協力を

血液センターでは、生化学的検査サービスを行っています。次の日程で街頭での献血を行います。皆さんのご協力をお願いします。

▽7月10日(火) 午前9時30分～午後4時30分まで/幌別銀座通り

▽7月26日(木) 午後1時～4時30分まで/旭合商店前

●BCG
ツベルクリン接種2日後、反応が陰性の人
●麻しん(はしか)
▽対象者 生後12ヵ月から42ヵ月未満の幼児
▽接種の方法 1回接種
※満一歳になりしだい各家庭へ麻しんの受診券を送付していますの

健康相談

▽実施月日
7月5日：鷺別公民館

▽参加料 300円(材料代)

▽定員 30名

▽申込期限 6月22日

▽申込・問合先 保健衛生課(TEL)21111内線250)

児童手当・特例給付の現況届けを忘れずに

現況届けは、引き続き手当を受けるための大切な手続きです。この現況届けは、受給されている方の前年の所得状況と、6月1日現在での児童養育の状況などを確認するため提出していただくものです。届け出がないと受給資格があっても6月分以降の児童手当の支払いを受けることができなくなりますので必ず提出してください。現況届けの受け付けは、次の日程で行いますので最寄りの会場で手続きをしてください。

月日	時間	会場	対象地区
6月22日	10:00~16:00	登別温泉公民館	カルルス町・上登別町・登別温泉町・中登別町
6月25日	10:00~16:00	登別公民館	中登別町・登別東町・登別本町・登別港町・高浦町・幸町・札内町
6月26日	10:00~16:00	ひまわり園	美園町・若草町・新生町・上鷺別町
6月27日	10:00~16:00	鷺別公民館	若山町・大和町・栄町・富岸町・鷺別町
6月28日	10:00~16:00	第2庁舎(旧中央公民館)	新栄町・幌別町・千歳町・中央町・富士町・柏木町・片倉町・新川町・桜木町・緑町・常盤町・川上町・来馬町・鉾山町
6月29日	10:00~16:00	*	予備日